

近年の心血管疾患急性期診療の主な進歩

近年の心血管疾患急性期診療の主な進歩(案)

○一律に禁忌とされていた急性心筋梗塞症例、
左冠動脈主幹部病変等に対する冠動脈ステント
(薬剤溶出型冠動脈ステント/ベアメタルステント)の
適用見直し。(2012年)

○大動脈疾患に対するステントグラフト治療の普及。

(胸部大動脈解離/大動脈瘤に対するステントグラフト治療件数^{1,2)})

	2008年	2013年
胸部大動脈解離	331	1014
胸部大動脈瘤	1075	3296

○心血管疾患の急性期において低侵襲な治療法が普及してきたことをふまえ
ながら、急性期診療提供体制について議論する必要があるのではないか。

1. 日本胸部外科学会年次報告(2008年)

2. 日本胸部外科学会年次報告(2013年)